

# 小山市立博物館 博物館だより

2010  
8.15

# 51

## 第56回企画展

# 桑摘み唄と小山の養蚕

平成22年11月20日(土)～平成23年1月23日(日)



小山市は、古くから蚕を飼って繭を生産したり、その卵（蚕種）を出荷するといった養蚕業が盛んに行われ、国内有数の産地として発展してきました。特に明治以降は、外国への輸出品としても注目され、蚕飼育方法の近代化と相俟って生産量も増加し、一大産業へと発展しました。そのため蚕の飼育は、農家にとって大きな収入源となりましたが、温度や湿度管理が十分でないと病気になりやすく、「お蚕様」と呼んで神様、あるいはわが子のように大切に育てました。また汚れ繭や玉繭、出殻繭などの商品とはならないものも決して無駄にせず、真綿にして糸を紡ぎ、高級織物としての結城紬の生産に結びつけました。こうした養蚕にまつわる歴史や文化は、桑村や絹村といった旧村の地名にも残されているほどです。

しかし時代の推移とともにその生産量も激減し、養蚕にまつわる用具や信仰、独特な造りの民家といったものも急速に失われつつあります。

今回の展示では、そうしたかつての養蚕に関わる民間伝承や養蚕道具などの資料をとおして、かつて小山市を代表する一大産業であった養蚕の歴史をたどります。

また養蚕にまつわる市内に残された唯一の民謡である、「生井の桑つみ唄」を紹介いたします。



**開館時間** 午前9時～午後5時（入館は4時30分）

**入館料** 大人200円 高校・大学生100円  
小中学生無料

**休館日** 月曜日（祝祭日は除く） 第4金曜日  
祝日の翌日 年末年始（12/27～1/4）

